



年長組になって自分の絵の具をもらった時から、「早く、使いたい！」「今日、お絵描きする？」と、使うことをとても楽しみにしていました。活動をする前日に、絵の具を使うことを伝えると、「やったー！」と、嬉しい声が沢山聞こえ、待ち遠しさが伝わってきました。服装も汚れても良い服でくることを伝えると、しっかり覚えていて感心させられました。子ども達が楽しんだ、夢中になった絵の具の活動の姿をお伝えします。

ステップ1 絵の具を使う前に道具の確認

自分の絵の具ケースを開けて、絵の具遊びをする為に必要な道具の名前を確認しました。絵の具を出すための“パレット”、色を染める“筆”、そして8色の“絵の具”があることを教えました。また、絵の具で遊ぶには、図画版、バケツ、雑巾が必要であることを話すと、真剣な表情で聞いていました。

担任が実際に、色を塗ってみました。水を付け過ぎた筆と水を付けない筆で塗って見せました。「何だか、かさかさして塗れていないね。」「色が見えないよ！」と、それぞれの違いに気付いていました。「筆は水が大好きだから、沢山飲ませてあげてね。」と話し、水をたっぷり含めて塗ると、「綺麗に塗れている！」「すごい！」と、目を輝かせて見ていました。「早くやりたい」の気持ちが高まったところで早速絵の具遊びをスタートしました。

ステップ2 8色の色を塗ってみよう

蓋を開けて、8色の色、黄、橙、赤、青、緑、茶、黒、白の色当てクイズをしました。知っている色で、子ども達は簡単そうにしていたのですが、“だいたい色”という呼び方を知り、新しい発見をしていました。パレットに小指の爪ほどの量の絵の具を出すことを伝え、絵の具遊びの始まりです。「あ〜出しすぎちゃったよ！」と、力加減が難しく“ぶちゅつ”と出てしまい、大サービスをする子ども達。「あちゃ〜。」と大笑いする子どもや慎重になり過ぎてゴマ粒くらいだけ出す子どもと、絵の具を出すだけでも必死さが伝わってきました。水を含ませた筆で、8つの○の中を1色ずつ塗り始めました。“水をたっぷり”という言葉をしっかり頭に入れていた子どもが多く、その結果が少々薄い色の作品に表れており、新たに子ども達の真面目な一面を知る事が出来ました。担任も一緒に絵の具や水の調節をしていながら、塗っていきました。「綺麗に塗れた！」「カサカサになった！」「面白い！」と、一つ一つの出来事が新鮮で夢中になって取り組んでいました。

8色染め終わると、「色を混ぜたい！」との言葉が聞こえて、ちょこっと混色にも挑戦しました。パレットに出した色を混ぜていくと、「何だか黒くなったよ！」「チョコレート色みたい！」と、周りに線を引किながら色の変化を楽しみました。

ステップ3 混色にチャレンジ 何色になるかな？

前回の絵の具遊びから混色に興味津々の子ども達の期待に応じて、混色遊びをしました。最初は担任が進めていき、“あか と あお は？”と子ども達のもわかりやすいように絵と表を描きながら混色をしていきました。「あお と しろ は？ 何色になるかな？」と問い掛けると、「もう知っているよ！」「水色でしょ！」と言いつつも、実際に自分で混ぜてみると、「うわぁ！本当に水色になった！」と、素直で可愛い感想から、子ども達の心が沢山動いていることが感じられました。混色で、橙色、水色、紫、桃色、緑、そして1番驚いていたのは、橙色と白を混ぜた肌色です。「すごい！」「何でこうなるの？」と、大発見に大盛り上がりでした。最後は自分の好きな色で混色をしました。「黒と白を混ぜたら…ねずみ色になった！」と発見したり、パレットの全部の色を混ぜて、黒や茶色を作ったりと心が沢山揺さぶられ、子ども達の目は輝いていました。

ステップ4 プールの短冊作り～自分の水着を絵の具で染めたよ～

絵の具と仲良しになった子ども達は、絵の具や水の量の調節にもだんだん慣れてきた様子が見られました。次は、プールの短冊作りで個人絵の具を取り入れました。水着を着て泳いでいる自分を描きます。その水着の部分を個人絵の具で色を染めました。最初はクレヨンで模様を描き、それから絵の具で塗りました。1色の色でじっくり染める子どもや混色でカラフルに仕上げた子どもなど、一人一人の思いが作っている姿や作品からたっぷり伝わってきました。

これから1年間を通して、様々な絵を描きながら、個人絵の具を使って絵の具遊びを楽しんでいきたいと思います。どんな素敵な作品を見せてくれるのか、担任も楽しみにしています。



「とても真剣な表情です！」

「パレットを洗いながら混色遊び！いろいろな色を大発見！」

「後片付けまでバッチリ！！
雑巾がけもしました！」

「何色になるのかな？わくわく♪」